

令和6年度 学校経営シラバス

校訓	○「一視同仁」 (差別することなく、 全ての人を愛する) ○「精励恪勤」 (力を尽くして、 学業や仕事に励む)	学校教育目標	北海道厚岸翔洋高等学校の生徒として、自覚と誇りを持ち、未来に翔く人の育成を目指し、 ○ 学びの目的を理解し、学びの喜びを実感できる人を育む ○ 課題を発見し、自ら進んで解決に取り組む人を育む ○ 自分と他者の違いを尊重し、多様な他者と協働することができる人を育む ○ 心身ともに健康で、持続可能な地域社会の創り手となる人を育む
----	--	--------	---

ビジョン	「自立貢献」 (ウェルビーイング) 未来がどのような社会であったとしても、 人としてよりよく生き【自立】、よりよい社会を創っていこう【貢献】 と努めることができる人を育む
------	---

スクール・ポリシー	育成を目指す 資質・能力 に関する方針	☐ 社会人・職業人としての基礎となる知識・技術 ☐ コミュニケーション力 ☐ 協働する力 ☐ 自己管理力 ☐ 思いやり ☐ 思考力 ☐ 道徳心 ☐ 自己肯定感
	教育課程の 編成及び実施 に関する方針	1 本校が育成を目指す資質・能力を着実に育む教育課程を編成・実施する。 2 基礎・基本の重視とともに、生徒の能力の最大限の伸長を図る教育課程を編成・実施する。 3 地域と連携し、地域の特性や教育資源を活かした教育課程を編成・実施する。 4 普通科では、生徒の多様な進路希望の実現を図る教育課程を編成・実施する。 5 海洋資源科では、水産・海洋関連の職業人としての基盤を培う教育課程を編成・実施する。
	入学者の 受入れ に関する方針	1 何事に対しても意欲的に取り組み、自らを高めるために学び続けようとする生徒 2 自他を尊重し、周囲への貢献意識を持って主体的に行動しようとする生徒 3 普通科においては、広い視野から将来の目標を見つけ、その実現に向けて意欲的に挑戦しようとする生徒 4 海洋資源科においては、水産・海洋への興味・関心を持ち、水産物の生産または調理に関する専門的な知識・技術の習得に努めようとする生徒
スクール・ミッション		1 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成 2 郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成
学校経営方針		1 地域や関係機関等との連携により、学校での学びと社会や生き方をつなぎ、学びの充実を図る。 2 教職員が教育の専門家として連帯し成長し合う同僚性や協働性を教職員間に構築する。 3 教職員が自らの生活の質を豊かにして専門性や人間性を高め、質の高い教育活動を行うことができるように、教職員が生き生きと働くことができる心理的安全性の高い職場環境づくりに取り組む。 4 積極的な情報発信と連携・協働により、家庭や地域から信頼され支援される学校づくりを進める。
重点目標		1 基礎的な学力の定着・向上に向けて、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組む。 2 育成を目指す資質・能力を着実に育むことができるよう、総合的な探究の時間や特別活動の充実・発展に取り組む。 3 地域や関係機関等との連携、及び地域の特性・教育資源を活かした教育活動を推進する。

領域	対 象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	★個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ★総合的な探究の時間の充実	1 観点別学習状況評価の質の向上 2 学習活動におけるICT機器の効果的活用 3 総合的な探究の時間の学習内容・実施体制の充実・発展 4 マスター・ハイスクール事業における到達目標を見据えた体系的・計画的な取組の進展	1 「評価規準」と「指導と評価の計画」の見直しを図り、妥当性・信頼性のある学習評価が実施できたか 2 主体的・対話的で深い学びのある授業に近づけたか 3 委員会を核とした新たな年間計画に基づく探究活動の実施と実施後の評価・改善の取組が着実に進んだか 4 「スマート水産」「水産物高付加価値化」に係る知識・技術の習得と地域に即した手法の開発が進んだか
	生徒指導	★自己指導能力の育成 ★自他を尊重し協働する意識・態度の育成	1 校則(ルール)の意味の理解に基づく指導の実施 2 望ましい人間関係を形成する力の育成 3 目指す資質・能力の着実な育成を図る特別活動の実施 4 生徒の主体性の涵養	1 生徒が校則(ルール)の意味を理解し、自ら主体的に適切な行動を行うことができているか 2 人間関係形成能力・コミュニケーション能力の育成を促す取組や生徒に関する情報連携を推進できたか 3 活動終了後に資質・能力の観点からの評価と改善に向けた検討が実施できたか 4 生徒会活動の企画・運営等において、生徒の手に任せる場面を増やすことができたか
	進路指導	★主体的に進路選択・実現ができる資質・能力の育成	1 各学年と連携した系統的・組織的な指導 2 多様な希望進路実現に向けた組織的対応	1 各学年との連携のもと、3年間を見通した体系的・組織的な全体計画を作成し実施できたか 2 多様な進路希望に対応したガイダンス機能の強化や組織的な支援体制が構築できたか
	健康・安全指導	★自己管理能力の育成	1 感染症対策の継続と健康管理意識の醸成 2 サポート委員会を核とした全職員での生徒支援体制の構築 3 避難訓練や各種教室の効果的な実施	1 生徒自らが感染予防に適切に取り組んでいるか 2 生徒支援に係る職員の協働・情報連携体制ができているか 3 関係機関等との連携により各種訓練・教室を効果的に実施できたか
学校運営	信頼される学校づくり	★保護者や地域から信頼・支援される学校づくり	1 保護者、地域、中学生への本校教育活動に対する啓発促進 2 PTA活動や説明会等への保護者の参加促進	1 教育活動の積極的な公開や情報発信の工夫が行われたか 2 PTA活動や説明会の実施内容・時期の見直し行ったか
	組織運営	★職員間の同僚性・協働性の構築 ★心理的安全性の構築 ★業務改善の推進	1 部長・主任を核とした協働体制の充実 2 職場研修や面談、打ち合わせ等のあり方の充実 3 目的を明確にした教育活動の実施	1 職員が組織的・協働的に業務に取り組んでいるか 2 個々の考えを「伝えられる」、「受けとめる」職場環境が構築できたか 3 手段が目的化した教育活動を実施していないか
	教職員の資質向上	★学び合う職員集団の構築	1 ICT活用と授業改善を核とした職員相互の学び合いの促進 2 今ある課題に即した実効的な校内研修の推進	1 公開授業週間の効果的な実施を通じて授業改善に向けた職員相互の学び合いが活性化されたか 2 職員の学びが深まる校内研修が実施できたか